

地域防災連続セミナー

～しなやかなまち福知山を目指して～

緊急開催！

参加
無料

緊急回【対応期】

令和6年能登半島地震

—現地の状況報告を踏まえ、北近畿からできる支援を考える—

今回の緊急回のセミナーでは、令和6年1月1日に発生した「令和6年能登半島地震」の被害状況を確認するとともに、被災地の現状やニーズについて能登エリアでの実際の支援活動をもとに報告します。今、どのような支援が必要とされ、何ができるのか、一緒に考えてみませんか。

日時 令和6年1月12日(金)18時～19時

場所 市民交流プラザふくちやま 4-2(4階)またはオンライン(Zoom)

定員 20名(現地) ※申し込み不要。Zoomで参加の方は以下のURLより登録ください



報告者

大門 大朗

福知山公立大学

福知山公立大学地域経営学部准教授。博士(人間科学)。専門は災害心理学、グループ・ダイナミックス。被災地の人々が将来の被災地で支援者になるという「被災地のリレー」について、東日本大震災被災地等で実践研究を行ってきた。2024年1月6～8日にかけて能登半島地震の被災地を訪問して見えてきた現状について報告する。

話題の内容

※訪問の状況により内容は大きく変更する可能性があります

- 令和6年能登半島地震の概要
- 現地訪問・活動の概要について
- 現地の状況について
 - 避難所・福祉避難所、避難所・在宅避難者のペット対応、宗教施設の活用・活動、学校の課題、災害ボランティア等(※大幅変更あり)
- 今後の支援・ニーズについて

※本セミナーは、JSPS科研費 20H01568, 22KJ3224の助成を受けたものです。

オンライン(Zoom)情報は右記QRコードより
事前登録ください



QRコードURL: <https://forms.gle/LaA4k2DZMwCqEfQ59>

概要: <https://www.fukuchiyama.ac.jp/institutions/bosai/>
問合せ: 大門研究室 daimon-hiroaki@fukuchiyama.ac.jp



福知山公立大学

The University of Fukuchiyama